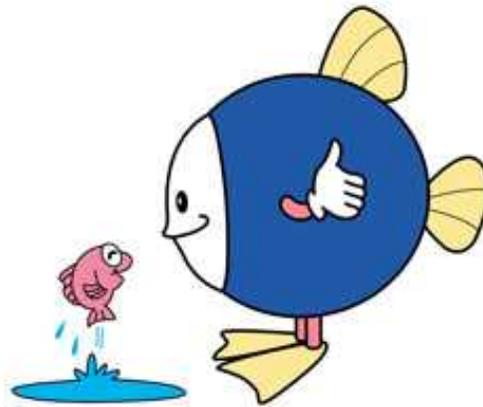


佐倉市下水道事業ウォーターPPP導入 に関するマーケットサウンディング (勉強会)調査 結果



佐倉市 上下水道部

アンケートの実施について

概要

佐倉市における下水道施設の維持管理等をより持続的かつ効果的に実施するため、佐倉市では現在、ウォーターPPPの導入検討を進めております。導入の検討にあたり、事業化に向けた基礎調査として、民間企業の皆さまの官民連携手法に対する知識・興味等を把握するため、下水道施設の官民連携手法導入に関するマーケットサウンディング(勉強会)を実施いたしました。

実施方法

佐倉市ホームページからダウンロード

実施期間

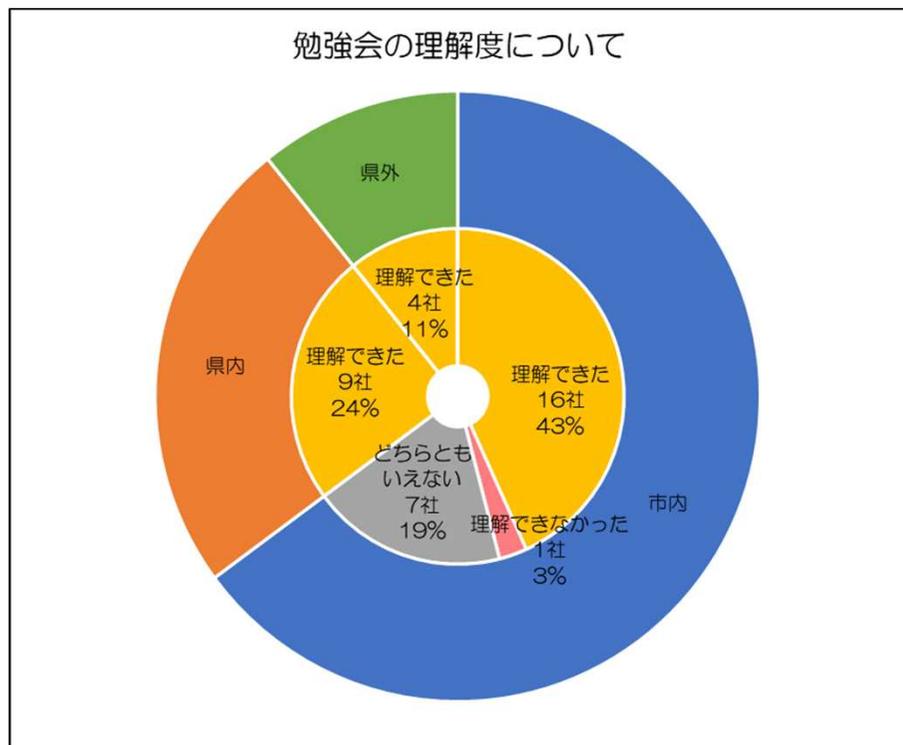
令和7年5月19日～令和7年5月30日

回答企業数

- ◆ 市内企業 24社(うち、建設:16社、維持管理:3社、コンサル:2社、その他:3社)
- ◆ 県内企業 9社(うち、建設:1社、維持管理:5社、コンサル:1社、その他:2社)
- ◆ 県外企業 4社(うち、建設:1社、維持管理:1社、コンサル:1社、その他:1社)

アンケート結果

1. 勉強会の理解度について



【37/37社の回答】

【理解できなかった、どちらともいえないと回答した方の回答選択理由】

理由
まだ現時点では佐倉市としての具体的な案が提示されていなかったため実感として捉えづらかった。 先行して導入事例がある自治体の具体的な内容をもっと掘り下げたところで知りたかった。
趣旨はわかるが、官民がどの程度連携できるか、まだわからない部分が多い。
時間的制約があったが、自社として何がどうできるか、どうすれば良いかわからなかった。
大枠の説明であったため、ウォーターPPPが佐倉市にとって良い事か判断は出来なかった。 更新実施型・支援型それぞれ受託した民間又は共同体が他の民間へ発注が可能であれば良いが、佐倉市外業者になる事も考えられるので、今後の説明で理解したい。
PPPに関する知識はあり、ある程度理解できたが、全体的にウォーターPPPの概要であったため、当社がどのように参画できるか理解できなかった。

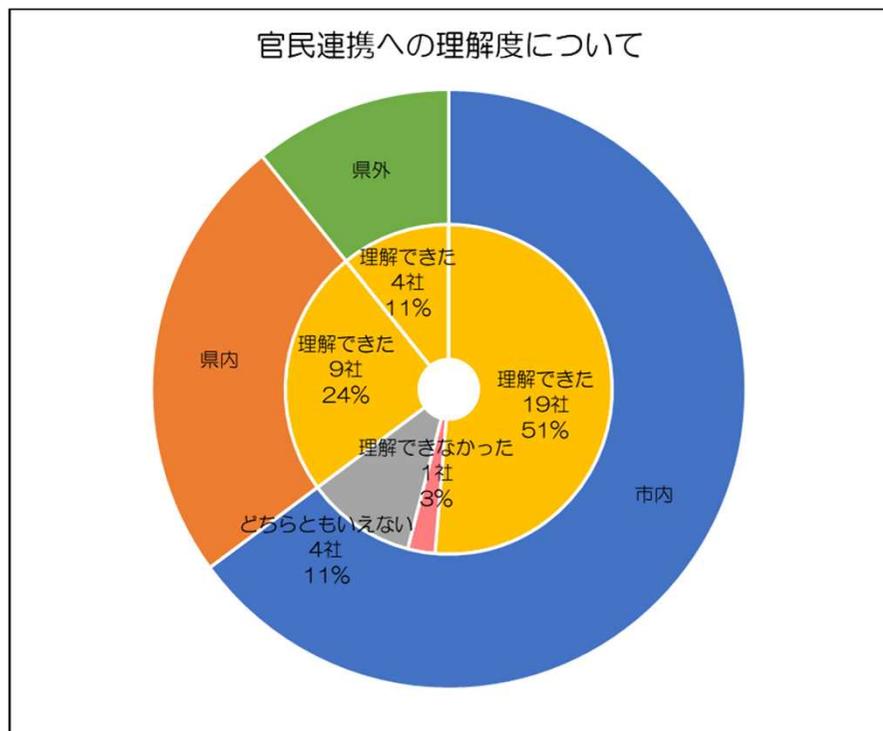
※記載内容は一部加工して記載しております。

【結果】

勉強会の理解度については、29社/37社（78%）から「理解できた」と回答があった。
また、8社/37社（22%）からは「理解できなかった」「どちらともいえない」と回答があった。

アンケート結果

2. 官民連携への理解度について



【37/37社の回答】

【理解できなかった、どちらともいえないと回答した方の回答選択理由】

理由
官公庁については、コスト削減などメリットがある事は理解出来た。民間については、維持管理費の低減などのストックマネジメント計画の策定が重要ではあるが、それをストックする場所など懸念が残る。どのようにコスト削減を行い、収益改善が図れるのかが規模(施設)がまだないので、今後の説明で理解したい。
今回の勉強会では全体枠しかわからないので、判断できない。
まだ現時点では具体例が提示されていなかったため実感として捉えづらかった。
当社位規模では、該当する事業があるのかわからない。
当社としての方向性について社内協議をしていないため

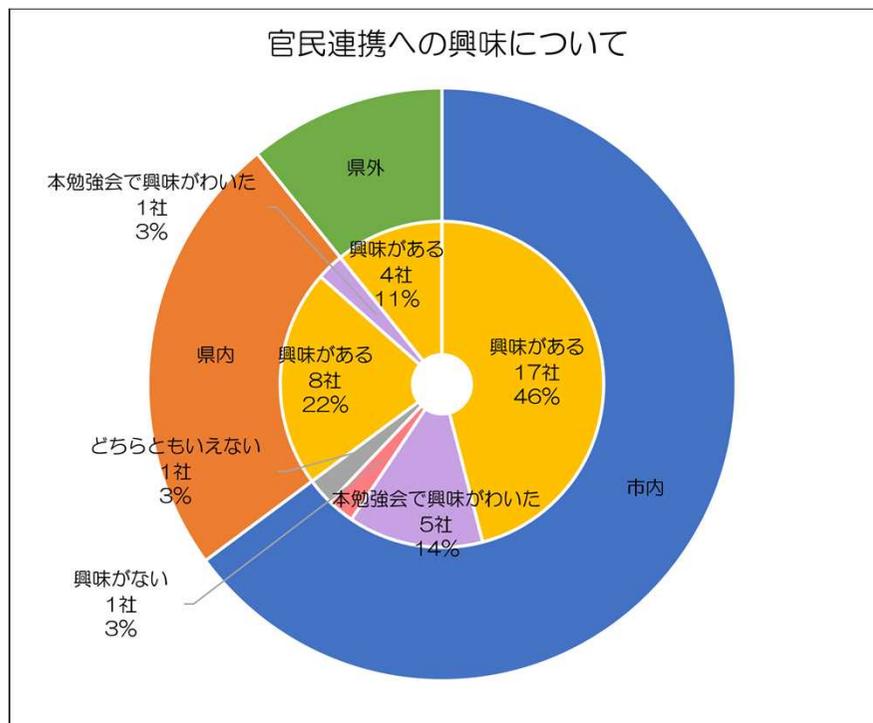
※記載内容は一部加工して記載しております。

【結果】

官民連携への理解度については、32社/37社（86％）から「理解できた」と回答があった。また、5社/37社（14％）からは「理解できなかった」「どちらともいえない」と回答があった。

アンケート結果

3. 官民連携への興味について



【37/37社の回答】

【興味がない、どちらともいえないと回答した方の回答選択理由】

理由
今回聞いた内容だと、当初では貢献できないと思われる。
当社としての方向性について社内協議をしていないため

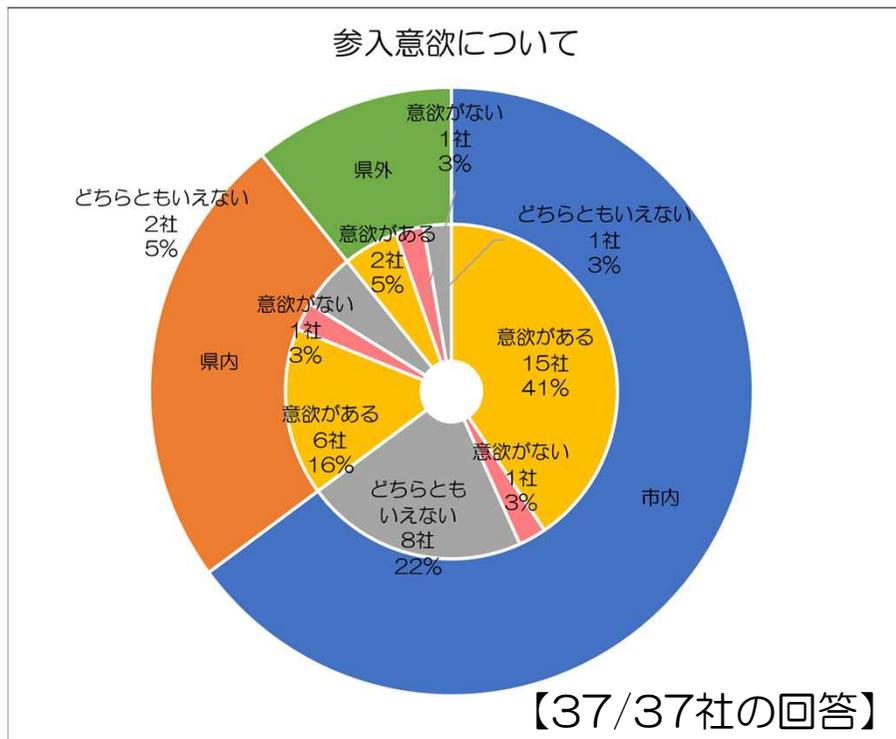
※記載内容は一部加工して記載しております。

【結果】

官民連携への興味については、29社/37社（78%）から「興味がある」、6社/37社（16%）から「本勉強会で興味があった」と回答があった。
また、2社/37社（6%）からは「興味がない」「どちらともいえない」と回答があり、理由としては企業内の方向性が定まっていない等の回答があった。

アンケート結果

4. 参入意欲について



【意欲があると回答した方の回答選択理由】

理由
※次ページ掲載

【意欲がない、どちらともいえないと回答した方の回答選択理由】

理由
※次ページ掲載

【結果】

参入意欲については、23社/37社（62%）から「意欲がある」と回答があった。

回答の理由としては、長期契約による業務の安定化、協力企業としての参画の可能性、官民連携への積極的な関わり等の意見が見られた。

一方、14社/37社（38%）からは「意欲がない」「どちらともいえない」と回答があった。本勉強会はウォーターPPPの概要説明であったため、佐倉市ウォーターPPP事業への関わり方について判断できないことから、本勉強会で示した内容では参加可否を判断できないという意見が多く見られた。

アンケート結果

4. 参入意欲について

【意欲があると回答した方の回答選択理由】

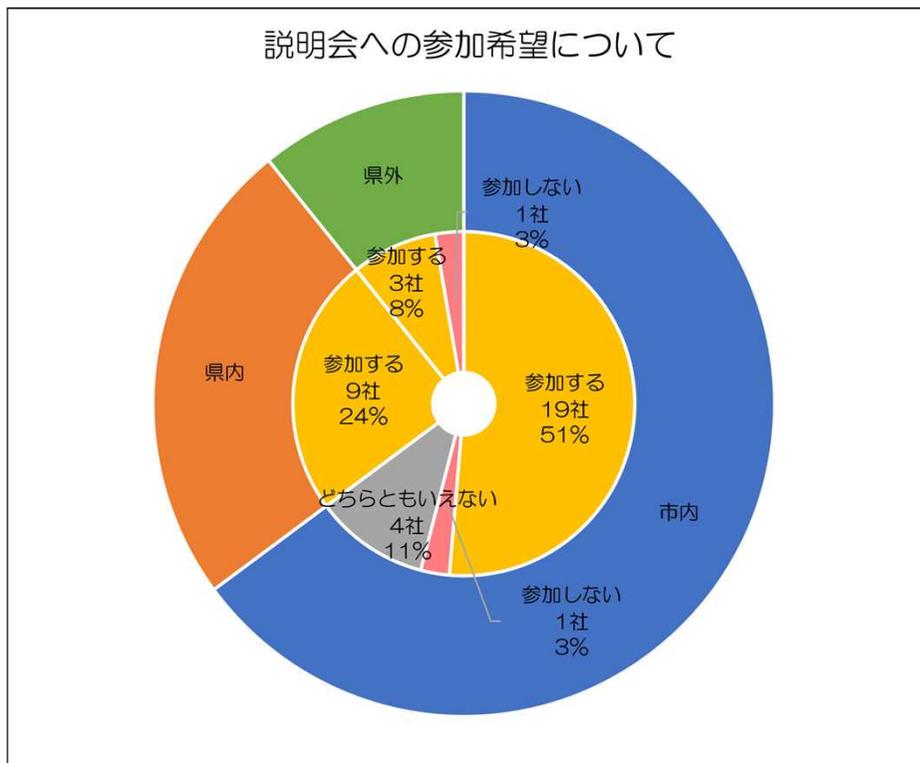
理由
長期の契約により業務の安定化がはかれることで、会社の事業計画や人員計画、技術教育等への投資が行いやすくなる。また、自治体と同じ目線で業務に取り組み、民間の視点での提案等を行い課題解決の一助が行えると考ええる。
他市町村で上下水道部の工事を下請けで行っているため、今回も参画の可能性はある。
社会の大きな流れであること、当社としてアセットマネジメントに利潤を保ちながらどの様に関与できるか興味がある。
これからの下水道事業において参入していかなければならないと思う。
数年前より勉強をしており、我々地元企業としてもどのようにコミットしていくかを含めて具体的に話し合っている。
長期の仕事が確保できる可能性がある。
WPPPの導入が必須となっていく中で、佐倉市へ貢献する良い機会と捉えている。
官民連携での事業運営に弊社の事業内容が活かされ携わることができると思う。

【意欲がない、どちらともいえないと回答した方の回答選択理由】

理由
今回の勉強会では全体枠しかわからないので、判断できない。
現時点では、佐倉市としてどのようなスキームを検討されているかが不明のため、弊社の固有技術が協力できるかが不明。
今回の勉強会だけでは、業務内容がはっきりしなかった。
今後の事業概要・事業スキームが判断材料となりますので現時点ではどちらともいえない。

アンケート結果

5. 説明会への参加希望について



【37/37社の回答】

【参加しない、どちらともいえないと回答した方の回答選択理由】

理由
当社としての方向性が決定してから対応したい。
現在のところ、当社はウォーターPPPへの参加を検討していないため、公募実施へ向けた説明会へ参加させて頂くことは想定していない。
下水道事業に関しては、弊社の事業内容と照らすとリンクしているものが少ないため。仕組み自体に関する興味はあるので次回参加は検討中。
佐倉市と連携して協力できるのであれば参加したい。
自社では対応できないイメージがあるため。

※記載内容は一部加工して記載しております。

【結果】

説明会への参加希望については、31社/37社（84%）から「参加する」と回答があった。また、6社/37社（16%）からは「参加しない」「どちらともいえない」と回答があった。

最後に

ウォーターPPP導入に関するアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。

今回のアンケート結果については、ウォーターPPPの事業範囲等の検討に活用させていただきます。

また、次回以降の説明会(マーケットサウンディング)では、佐倉市ウォーターPPP事業の具体的な事業内容(対象施設、対象業務等)を段階的に提示し、よりご理解いただけるよう情報発信を実施して参ります。

民間企業の皆さまにおかれましては、今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。